初めての教育実習を終えて

幼児保育学科1年生は１月末から約２週間の実習を行います。
今回は私が青森市内の幼稚園で教育実習をしたことについてお伝えします。

【事前準備】
準備として、子どもたちに名前を覚えてもらえるように、フェルトを使って名札を作りました。子ども達はすぐに名前を覚えてくれ、「〇〇先生」と呼んでくれる度にとても嬉しい気持ちになりました。「名札を引っ張られても取れないように・針を使わずに安全」という面を考え、エプロンに直接縫い付けましたが、良い選択だったようです。

【園の先生からの助言】
実習生は、絵本や手遊び歌を子どもたちの前で披露する機会がありましたが、園の先生から

「手遊びや、子ども達に披露できるものは、あればあるだけ良い。子どもウケを狙う！」

などの助言を頂きました。
教育実習Ⅱまでに、子どもウケを狙える様々な技を蓄えておきたいと感じています。

【実習を終えて】
実習を通して、子どもたちと楽しみながら保育をしている園の先生方の様子が印象的でした。

また、子どものできなかったことができるようになる瞬間に携わることが出来たり、その瞬間を見ることのできる保育の職業にもっと意欲が湧きました。

これからの自分に活かしていこうと思える実習となりました！